

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
株式会社 ルネサス テクノロジ  
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	開発環境	発行番号	TN-EML-A124A/J	Rev.	第1版
題名	リフレッシュコントローラとブレイク割込みの競合に伴う制限事項		情報分類	技術情報	
適用製品	H8S/2378F E10A エミュレータ(V 1.01以降) 型名: HS2378KCM01H, HS2378KCI01H	対象ロット等	関連資料	・ H8S/2378 グループ、H8S/2378R グループ ハードウェアマニュアル (RJJ09B0094-0400H Rev.4.00) ・ H8S/2172 グループ ハードウェアマニュアル (RJJ09B0156-0200Z Rev.2.00)	
	H8S/2170F E10A エミュレータ(V 1.00以降) 型名: HS2170KCM01H, HS2170KCI01H E10A-USB エミュレータ(V 1.3.00以降) 型名: HS0005KCU01H, HS0005KCU02H	適用製品欄参照			

E10A, E10A-USBエミュレータをお持ちで、H8S/2377RのSDRAMインタフェース及びH8S/2172FのDRAMインタフェースをご使用の場合、リフレッシュ制御に関する下記の制限事項が適用されます。

本内容をご了解戴き、ご使用下さいますよう、宜しくお願い致します。

**【現象】**

H8S/2377RのSDRAMインタフェース及びH8S/2172FのDRAMインタフェースをご使用の場合、リフレッシュ間隔の設定によってプログラム停止動作及びStep実行を行うとPC(プログラムカウンタ)が不正なアドレスに設定される不具合があります。

**【制限事項】**

本現象はリフレッシュ間隔を長く設定することによって発生頻度は減少しますが、デバイスの仕様上完全に回避することは出来ません。

その為、E10A, E10A-USBエミュレータを使用時のSDRAM/DRAMインタフェースの評価は正常に行えませんのでご使用を控えて下さい。

但し、上記をご了解して戴いた上でSDRAM/DRAMインタフェースをご使用する場合は、発生頻度を減少させる為にリフレッシュ間隔を下記に従い設定してご使用することをお勧めします。

- ・ REFCRレジスタのRTCK2, RTCK1, RTCK0ビットでリフレッシュカウンタクロックを間隔規定内で出来る限り低速に設定して下さい。
- ・ RTCNTレジスタとRTCORレジスタのコンペアマッチ周期を間隔規定内で出来る限り長く設定して下さい。

以上